ふるさと企業 この一手 ■203■

RK企画

土木で実績 美容へ参入

デニム作業着いち早く

県内の建設会社に勤めていた佐川隆之社長(51)が、平成18（2006）年に独立して創業した。最初は従業員数人で上下水道や土木、給排水などの工事を担っていたが、県内自治体などの受注実績を重ね、創立10年目の28年に株式会社化し、従業員も増やした。現在は12人が複数のグループに分かれ、県内各地の工事を請け負う。今年5月には多角経営の一環で美容室経営にも乗り出した。

水道や給排水、解体などを手掛けるが、得意とするのはスプリンクラーなど消火設備の設置だ。現在は長野市の篠ノ井病院で請け負っている。佐川社長は「土木工事につきまとう、きつい、危険、汚いの3Kイメージを覆したい」と考える。従業員が安定した生活を送れるよう待遇面を向上させ、従業員同士のコミュニケーションを深めることで安全性を高める。

会社のロゴが入ったデニム地の作業着を手にする佐川社長

〈あーるけいきかく〉松本市笹部2－6－19。佐川隆之社長の長男で美容部門で働く隆希さんと、土木部門で働く次男・敬人さんの頭文字から会社名を取った。従業員は12人。

岡山県の作業着メーカーと契約し、おしゃれなデニム地の作業着をいち早く取り入れてイメージの払しょくを図る。

美容室部門は佐川社長の長男で松本理容美容専門学校を卒業した隆希さん(26)が、妻の彩華さん(21)と共に、松本市宮田に「ヘアーサロン・Achromatic(アクロマティック)」を開業した。同年代だけでなく年配客も増え、隆希さんは「お客さまをよく見てお客さまが望む髪形を提案したい。他店とは違うトリートメントの良さを体験してほしい」と話す。

笑顔で美容施術をする佐川隆希さん（右）と彩華さん

美容室では土木部門で働く従業員や家族を割り引きで施術する。佐川社長は「口コミで評判が広がってくれれば」と期待する。今後は美容室に出向くことが難しい高齢者や、子供を育てる母親らを対象に、自宅に出向く「出張カット」も行う予定だ。（小口浩一）

注目!!この数字

1000円オフ

美容室Achromatic に新規で来た人への値引き価格。男性のカットは通常3300円を2200円に、女性のカットは通常4400円を3300円に割り引く。5月1日の開店以来、50人ほどが割り引きで施術を受けリピーターとなる人が大半という。

創立100年 東

県ケ丘高 同窓生

母校の節目ににぎやかに開催さ

なっている入学直後の「応援練習」を再現したりと趣向を凝らし、参加者たちがにぎやかに旧交を温めた。

9月に松本で予定される記念式典は、東京でも会場を設けて様子を中継し、ともに祝福する計画が進んでいるという。第56回総会・懇親会の小岩井忠実行

日、松本市丸の内の本 をした。昭和26（19

路上のごみを丁寧に拾う信金の職員たち

缶、紙くずなどを拾った。職員たちは植栽の陰などもしっかり確認し、細かいごみも逃さずに回収していた。

本店営業部の矢澤秀弘部長は「地域に根ざした金融機関として、清掃を通じて地域に感謝の気持ちを示したい」と話していた。（田中祥子）

S Λ